

## 基本方針主要事項等への意見と対応

## 1 目指す学校像

多様性を尊重し、生徒一人一人が夢や希望に向かって挑戦できる学校

意見：誰にでもわかりやすく「尊重し」を「大切に生かし」、生徒が躊躇しないよう「挑戦できる」を「安心して学べる」に変更してはどうか。

対応：変更なし

## 2 入学対象者

・高等学校以上の学校を卒業・修了していない人

意見：「高等学校以上の学校を卒業・修了していない人」を削除してはどうか。

対応：「原則、」を追記する。

(改)・原則、高等学校以上の学校を卒業・修了していない人

## 3 入学時期

・4月入学を基本とする。入学希望者との面談は随時実施し、4月以降入学も想定する。

意見：随時入学としてはどうか。

対応：「4月以降」を「10月」に変更

(改)・4月入学を基本とする。入学希望者との面談は随時実施し、10月入学も可能とする。

## 4 進級と修業年限

・修業年限については3年とし、原則6年を上限とする。

意見：上限は設けない又は中学校3年と小学校6年を合わせた9年を上限としてはどうか。

対応：変更なし

## 8 学校給食

・学校給食は実施しないが、持参した食事等について、休憩時間に喫食できるようにする。

意見：給食の実施は無理でも補食等の対応はできないか。共に食事をすることで、生徒間の交流も深まるのではないか。

対応：変更なし

## 14 教育課程等

## ○ 年間授業時数

- ・年間総時数を700時間程度とし、学び直しや進学ニーズが多くあることを踏まえ、5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の時間数を多く設定する。
- ・授業内容を工夫し、技能教科(音楽、保健体育、美術、技術、家庭)の時数を減らす。

意見：技能教科の「時数を減らす」という表現は変えることはできないか。

対応：「多く設定する」を「重点を置いて時間数を確保する」に変更し、技能教科に関する記述を削除する。

(改)・年間総時数を700時間程度とし、学び直しや進学ニーズが多くあることを踏まえ、5教科(国語、社会、数学、理科、英語)に重点を置いて時間数を確保する。

14 教育課程等

○ 学級編制

- ・学年1学級とするが、生徒の人数や習熟度に応じて柔軟に編制する。

意見：1学級の編制人数は何人か。希望者が多い場合の対応はどうか。

対応：変更なし

16 学校行事と生徒会及び部活動

- ・生徒会は組織するが、部活動については開設しない。
- ・学校行事については、可能な範囲で生徒会とともに計画する。

意見：部活動についての記述は必要ないのではないか。

対応：「16 学校行事と生徒会及び部活動」を「16 特別活動」に変更し、「部活動」についての記述を削除する。

(改) 16 特別活動

- ・生徒会を組織する。また、学校行事等の実施に当たっては、生徒会とともに検討・計画に取り組む。

17 制服等

- ・制服は設けないが、式典等で着用する標準服については、生徒会等とともに検討する。

意見：生徒会とともに検討するとしても標準服については、初年度の説明が大切ではないか。

対応：「標準服」を「服装」に変更する。

- (改)・制服は設けないが、式典等での服装などについては、生徒会等とともに検討する。

○ 開設時期

令和7年4月

意見：建築等の所要期間のみがネックであれば他の整備方法を考えてはどうか。

対応：変更なし